

## 仙酔島

仙酔島は、日本列島がユーラシア大陸の一部を成していた 9000 万年以上前の激しい火山活動によって作られた岩石で構成されています。島の地形と岩石の存在や分布は、大きな火山活動や地震活動の期間を含む、この地域の地質学的歴史を洞察する手がかりを与えてくれます。侵食された海食洞や仙酔層などの特徴ある地形は、県の天然記念物に指定されています。

ハイキングコースは島の 3 つの頂上へと続いており、そこからは周囲の海、島々、そして沼隈半島東岸の港町である鞆の浦を見渡すことができます。

仙酔島は、鞆公園と瀬戸内海国立公園の両方に属しています。鞆公園は仙酔島、いくつかの近隣の島々、そして沼隈半島の一部を含む県立公園です。鞆公園は印象的な海岸線と島の景観により、国の名勝地に指定されています。

瀬戸内海国立公園は、国内最大級の国立公園の一つです。広島、大阪、福岡を含む 11 県にまたがる瀬戸内海の 9,000 平方キロメートル以上の陸地と水域をカバーしています。約 1,000 の島々を含む公園には、広島の大島神社から徳島の鳴門の渦潮まで、文化的・自然的に重要な多様な保護された沿岸および島の景観があります。